

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	8:00	承認	審査	作成				
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4N			2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21				
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/2/19	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-77			
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	難燃シート	C	02	D	A	7 m ²	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β 有	20 mSv/h
	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	4 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	4 mSv/h
	3	砕石	B	04	D	A	3 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h
	4	ガラ	B	10	D	A	4 m ²	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	4 mSv/h
5	アスガラ	B	09	D	A	2 m ²	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	4 mSv/h	
メモ	8m3コンテナ2基分(No122, 123)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0065
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年2月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	15 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/2/26 8:00	10 m ³		OK-0343A	1
	1	2	10m3コンテナ	15 μSv/h	23 μSv/h	23 μSv/h	エリアW1	2018/2/26 8:00	10 m ³		OK-0369A	1
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005			
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	9:00		承認	審査	作成	固体廃棄物管理G記入欄		受付	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								受 付 番 号			
	発生場所	H4N						2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21	廃2018	— 02 — 0066	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				2018/2/22		
	元請会社					担当者	TEL				調整後保管日時 2018年2月26日 9:00		
線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77		【保管時の指示事項等】		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③									
		1	難燃シート	C	02	D	A	2 m ²	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β有	20 mSv/h	
		2	コンクリートガラ	B	02	D	A	6 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β有	4 mSv/h	
入	3	碎石	B	04	D	A	3 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β有	0.25 mSv/h		
	4	ガラ	B	10	D	A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β有	4 mSv/h		
欄	5	ポリウレア	C	04	D	A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β有	4 mSv/h		
	8m3コンテナ2基分(No120, 121)												
線量測定内容													
測定日	2018年2月26日												
測定No.	氏名	測定器	管理番号										
1		ICWBL	F1-ICWBL-105										
2													
3													
4													
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	10m3コンテナ	15 μSv/h	60 μSv/h	60 μSv/h	エリアW1	2018/2/26 9:00	10 m ²		OK-0039	1	
	1	2	10m3コンテナ	15 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW1	2018/2/26 9:00	10 m ²		A0236	1	
									m ²				
									m ²				
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													
メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
	注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
	注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。														

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③										
	6	草	A	04	D	A	2	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.25	mSv/h
	7	ゴム	C	01	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.25	mSv/h
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0066

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	10:00	承認	審査	作成														
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事																			
	発生場所	H4N																			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL																
	元請会社			担当者	TEL																
線量測定年月日	2018/2/15	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-77													
No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																	
		1	難燃シート	C	02						D	A	2	m ²	0.002	mSv/h	0.6	mSv/h	β有	20	mSv/h
		2	コンクリートガラ	B	02						D	A	6	m ²	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	β有	4	mSv/h
		3	碎石	B	04						D	A	4	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β有	0.25	mSv/h
		4																			
5																					
メモ	8m3コンテナ2基分(No118、119)																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0067
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年2月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	15 μSv/h	20 μSv/h	40 μSv/h	エリアW1	2018/2/26 10:00	10 m ²		A0115	1
	1	2	10m3コンテナ	15 μSv/h	15 μSv/h	22 μSv/h	エリアW1	2018/2/26 10:00	10 m ²		C0029	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
----	-------------------------

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005						
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	11:00		承認	審査	作成							
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事														
	発生場所	H4N						2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21						
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL							
	元請会社					担当者			TEL							
	線量測定年月日	2018/2/15		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77					
メ モ	G	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率				
		①	②	③												
		1	難燃シート	C	02	D	A	2	m ²	0.002	mSv/h	0.6	mSv/h	β有	20	mSv/h
		2	コンクリートガラ	B	02	D	A	10	m ²	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	β有	4	mSv/h
		3	碎石	B	04	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β有	0.25	mSv/h
		4	鉄	B	01	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.006	mSv/h	β有	4	mSv/h
		5	ポリマー	A	04	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β有	0.25	mSv/h
		8m3コンテナ2基分(No116、117)														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0068
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年2月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h								
メ モ	1	1	10m3コンテナ	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアW1	2018/2/26 10:30	10	m ³	A0054	1
	1	2	10m3コンテナ	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	エリアW1	2018/2/26 10:30	10	m ³	A0019	1
													m ³		
													m ³		
													m ³		
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐 採 木												
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	12:00	承認	審査	作成				
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4N			2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21				
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-77			
記録入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	1	難燃シート	C	02	D	A	4 m ²	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β 有	20 mSv/h
	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	4 mSv/h
	3	碎石	B	04	D	A	4 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h
	4	ガラ	B	10	D	A	3 m ²	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	4 mSv/h
	5	アスガラ	B	09	D	A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h
メモ	8m3コンテナ2基分(No112、113)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0069
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年2月26日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/26 11:30	10 m ³		OK-0206	1
	1	2	10m3コンテナ	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/26 11:30	10 m ³		C0036	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
----	-------------------------

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	鉄	B	01	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.25	mSv/h
	7						m ²								
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0069

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005			
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	8:00		承認	審査	作成	固体廃棄物管理G記入欄		受付	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								受 付 番 号			
	発生場所	H4タンクエリア						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23	廃2018	— 02 — 0075	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				2018/2/23		
	元請会社					担当者	TEL				調整後保管日時 2018年2月28日 8:00		
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-31		【保管時の指示事項等】	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	土砂類		B 04	W A	18 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	β 有	300 μ Sv/h			
	2					m ²							
	3					m ²							
4					m ²								
5					m ²								
メモ	8m3コンテナ×2個 線量測定結果反映												
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類	15	μ Sv/h	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/28 8:05	10 m ²		OK-0079	1
	1	2	土砂類	15	μ Sv/h	15 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/28 8:05	10 m ²		OK-0092	1
										m ²			
										m ²			
										m ²			
										m ²			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												
	メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納											
	※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —				
06 —				07 —	08 —	09 —	10 —						
B			不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類					
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他						
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —						
C			難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —					
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —						
D			伐採木										
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0076
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年2月28日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4タンクエリア									
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICWBL-31			
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	土砂類	B	04	W	A	16 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	β 有	300 μ Sv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
メモ	8m3コンテナ×2個 線量測定結果反映										

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/28 8:45	10 m ²		B0104	1
	1	2	土砂類	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/28 8:45	10 m ²		OK-0262	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005	
作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4タンクエリア					2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-31	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	土砂類	B	04	W	A	16 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	β有	300 μSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
メ モ	8m3コンテナ×2個 線量測定結果反映										

線量測定内容											
測定日	2018年2月28日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-105								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				15 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	90 μSv/h	10 m ²	10 m ²							
	1	1	土砂類	15 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	90 μSv/h	10 m ²	10 m ²	エリアW1	2018/2/28 10:05	10 m ²			A0094	1
	1	2	土砂類	15 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	90 μSv/h	10 m ²	10 m ²	エリアW1	2018/2/28 10:05	10 m ²			C0020	1
												m ²				
												m ²				
												m ²				
												m ²				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ 上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	H4タンクエリア						2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-31		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	土砂類		B	04	W	A	16 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	β 有	300 μ Sv/h
	2							m ²				
	3							m ²				
4							m ²					
5							m ²					
メモ	8m3コンテナ×2個 線量測定結果反映											

線量測定内容									
測定日	2018年2月28日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICWBL	F1-ICWBL-105						
2									
3									
4									

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	30	μ Sv/h	エリアW1	2018/2/28 10:35	10 m ²		A0036	1
	1	2	土砂類	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアW1	2018/2/28 10:35	10 m ²		OK-0276	1
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納														
----	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —					
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —					
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴										
		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」													

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4タンクエリア				2018/2/23	2018/2/23	2018/2/23			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICWBL-31			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	土砂類	B	04	W	A	16 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	β 有	300 μ Sv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
メモ	8m3コンテナ×2個 線量測定結果反映										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0079
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年2月28日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/28 11:30	10 m ²		A0017	1
	1	2	土砂類	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	150 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/28 11:30	10 m ²		A0050	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0002															
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年2月26日		(月)		10:00		承認		審査		作成												
	作業件名		発電所構内除草・除伐業務																						
	発生場所		福島第一原子力発電所構外(西門周辺エリア)																						
	作業主管G		総務グループ						監理員		TEL														
	元請会社								担当者		TEL														
	線量測定年月日		2017/12/4		測定者				測定器名		FI-SC		管理番号		099										
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率								
	1		伐採木(幹・根)			① ② ③			14 m ³		9 μ Sv/h		9 μ Sv/h		無										
	2								m ³																
	3								m ³																
4								m ³																	
5								m ³																	
4回運搬予定																									
線量測定内容																									
測定日																									
測定No.		氏名		測定器		管理番号																			
1																									
2																									
3																									
4																									
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.		
	1		1		伐採木(幹・根)								エリアG(幹・根)		2018/2/26 9:40		3 m ³								
	1		2		伐採木(幹・根)								エリアG(幹・根)		2018/2/26 9:40		3 m ³								
	1		3		伐採木(幹・根)								エリアG(幹・根)		2018/2/26 11:15		3 m ³								
	1		4		伐採木(幹・根)								エリアG(幹・根)		2018/2/26 11:15		3 m ³								
																	m ³								
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
	メ																								
	モ																								
	※ カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -											
06 -						07 -		08 -		09 -		10 -													
B 不燃物				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類													
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他													
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 -		14 -		15 -													
C 難燃物				01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -													
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -													
D 伐採木																									
②				状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」													
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																									
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																									
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0002																																																																																																																						
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時		2018年2月27日		(火)		10:00		承認	審査	作成																																																																																																																					
	作業件名		発電所構内除草・除伐業務																																																																																																																													
	発生場所		福島第一原子力発電所構外(西門周辺エリア)																																																																																																																													
	作業主管G		総務グループ				監理員		TEL																																																																																																																							
	元請会社						担当者		TEL																																																																																																																							
線量測定年月日		2017/12/4		測定者		測定器名		FI-SC		管理番号 099																																																																																																																						
No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率																																																																																																																	
1		伐採木(幹・根)			D 01 D A		14 m³		9 μSv/h		9 μSv/h		無																																																																																																																			
2							m³																																																																																																																									
3							m³																																																																																																																									
4							m³																																																																																																																									
5							m³																																																																																																																									
メモ		4回運搬予定																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4"></th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>																	線量測定内容					測定日					測定No.	氏名	測定器	管理番号		1					2					3					4																																																																																	
線量測定内容																																																																																																																																
測定日																																																																																																																																
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																													
1																																																																																																																																
2																																																																																																																																
3																																																																																																																																
4																																																																																																																																
保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.																																																																																																											
	1	1	伐採木(幹・根)								エリアG(幹・根)		2018/2/27 9:25		3 m³																																																																																																																	
	1	2	伐採木(幹・根)								エリアG(幹・根)		2018/2/27 9:25		3 m³																																																																																																																	
	1	3	伐採木(幹・根)								エリアG(幹・根)		2018/2/27 11:10		3 m³																																																																																																																	
	1	4	伐採木(幹・根)								エリアG(幹・根)		2018/2/27 11:10		3 m³																																																																																																																	
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																																
メモ																																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カ テ ゴ リ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A</th> <th rowspan="5">可 燃 物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06</th> <th colspan="2">07</th> <th colspan="2">08</th> <th colspan="2">09</th> <th colspan="2">10</th> </tr> <tr> <th colspan="2">01 金属ガラ</th> <th colspan="2">02 コンクリートガラ</th> <th colspan="2">03 機器類・制御盤類</th> <th colspan="2">04 土砂類</th> <th colspan="2">05 塩化ビニール類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06 保温材</th> <th colspan="2">07 石綿含有物</th> <th colspan="2">08 ケーブル類</th> <th colspan="2">09 アスファルトガラ</th> <th colspan="2">10 不燃物その他</th> </tr> <tr> <th colspan="2">11 フランジタンク本体</th> <th colspan="2">12 フランジタンク付属品</th> <th colspan="2">13</th> <th colspan="2">14</th> <th colspan="2">15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">②</td> <td rowspan="4">B</td> <td rowspan="4">不 燃 物</td> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03</td> <td colspan="2">04</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2">状 態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履 歴</td> <td colspan="2">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> <tr> <td colspan="19"> 注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。 </td> </tr> </tbody> </table>																							※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		06		07		08		09		10		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15		②	B	不 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																		
※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05																																																																																																																				
				06		07		08		09		10																																																																																																																				
				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																																				
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																																				
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15																																																																																																																				
②	B	不 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05																																																																																																																					
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05																																																																																																																					
			状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																					
			注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																																																																																													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0032		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	H3,H4,H5,B,G6タンクエリア						2018/2/1	2018/2/1	2018/1/31		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/15		測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-13	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③								
	1	保温材	B	06	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	不燃物その他	B	10	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	3	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	4						m ²					
	5						m ²					
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0276
				2018/2/1
調整後保管日時		2018年2月27日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	3	1	金属ガラ ⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/2/27 10:00	5 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0032		固体廃棄物管理G記入欄				受付								
作業主管理G記入欄	保管希望日時		2018年2月27日				(火)		11:30		承認		審査		作成		受付番号							
	作業件名		H5・6フランジタンクリプレイス関連工事														2018/2/1							
	発生場所		H3,H4,H5,B,G6タンクエリア										2018/2/1		2018/2/1		2018/1/31		調整後保管日時 2018年2月27日 11:30					
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員		TEL								【保管時の指示事項等】							
	元請会社						担当者		TEL															
線量測定年月日		2017/11/21		測定者				測定器名		ICW(B)		管理番号		F1-ICWBL-13										
No.		保管物名				※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率						
						① ② ③																		
1		紙・ウエス類				A 01 D B				1 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無								
2		プラスチック・ポリ・ビニール類				A 02 D B				1 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無								
3		ゴム類				C 01 D B				2 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無								
4		可燃物その他				A 04 D B				1 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無								
5										m ²														
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																								
線量測定内容																								
測定日		2018年2月27日																						
測定No.		氏名		測定器		管理番号																		
1				ICW		F1-ICW-158																		
2																								
3																								
4																								
保管実績記入欄	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		紙・ウエス類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/2/27 11:30		0.7 m ²						1	
	2		1		プラスチック・ポリ・ビニール類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/2/27 11:30		1.1 m ²						1	
	3		1		ゴム類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/2/27 11:30		0.2 m ²						1	
	4		1		可燃物その他		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/2/27 11:30		0.3 m ²						1	
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
※カテゴリ																								
①																								
A 可燃物																								
01 紙・ウエス類																								
02 プラスチック・ポリ・ビニール類																								
03 木材類																								
04 可燃物その他																								
05 -																								
06 -																								
07 -																								
08 -																								
09 -																								
10 -																								
B 不燃物																								
01 金属ガラ																								
02 コンクリートガラ																								
03 機器類・制御盤類																								
04 土砂類																								
05 塩化ビニール類																								
06 保温材																								
07 石綿含有物																								
08 ケーブル類																								
09 アスファルトガラ																								
10 不燃物その他																								
11 フランジタンク本体																								
12 フランジタンク付属品																								
13 -																								
14 -																								
15 -																								
C 難燃物																								
01 ゴム類																								
02 難燃シート類																								
03 ホース類																								
04 難燃物その他																								
05 -																								
D 伐採木																								
01 伐採木(幹・根)																								
02 伐採木(枝・葉)																								
03 -																								
04 -																								
05 -																								
② 状態 D:乾燥, W:湿気有																								
③ 履歴 A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																								
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0107

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	SARRY II 新設工事									
	発生場所	1F構内			2018/2/5	2018/2/5	2018/2/5				
	作業主管G	処理設備グループ	監理員	TEL							
	元請会社		担当者	TEL							
	線量測定年月日	2017/11/21	測定者		測定器名	ICW/ICWBL	管理番号	222/101			
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	1	クローラフレーム部	B	01	D	A	2 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	本体等その他	B	01	D	A	5 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
メ モ	5						m ²				
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0308
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	クローラフレーム部 ⑩	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 9:50	2 m ²			1
	2	1	本体等その他 ⑩	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 9:50	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G6タンクエリア				2018/2/6	2018/2/6	2018/2/5		
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/25	測定者			測定器名	ICW(BL)	管理番号	F1-ICWBL-54	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	金属ガラ	B	01	D	B	8 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	コンクリートガラ	B	02	D	B	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	ゴム類	C	01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				2018/2/6
廃2018	—	02	— 0349	
調整後保管日時		2018年2月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-55	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 9:45	4 m ²			2
	2	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 9:45	0.5 m ²			2
	3	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/26 9:35	0.01 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
							C:「現場に保管された物」, D:「現場で燃やされた物」							
							E:「現場で燃やされた物」, F:「現場で燃やされた物」							
G:「現場で燃やされた物」, H:「現場で燃やされた物」														
I:「現場で燃やされた物」, J:「現場で燃やされた物」														
K:「現場で燃やされた物」, L:「現場で燃やされた物」														

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	13:00	承認	審査	作成						
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事												
	発生場所	G6、H6北タンクエリア				2018/2/6	2018/2/6	2018/2/5						
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL								
	元請会社			担当者		TEL								
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-130						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率					
		①	②	③										
1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	B	3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
2	不燃物(機器類・制御盤類)	B	03	D	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
3	不燃物(その他)	B	10	D	B	1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
4	不燃物(コンクリート)	B	02	D	B	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
5							m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0350
				2018/2/6
調整後保管日時		2018年2月26日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/26 11:00	3 m ²			1
	2	1	不燃物(機器類・制御盤類) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/26 11:05	2 m ²			1
	3	1	不燃物(その他) ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/26 11:00	1 m ²			1
	4	1	不燃物(コンクリート) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/26 11:05	0.1 m ²			1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」　B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	8:00	承認	審査	作成				
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	G6エリア			2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8				
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員	TEL							
	元請会社		担当者	TEL							
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 T-ICWBL-04				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	タンク副部材	B	12	D	A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	塩ビ管	B	05	D	A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	不燃その他	B	10	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	4	金属ゴミ	B	01	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	5						m ²				
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0393
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G6エリア			2018/2/9	2018/2/9	2018/2/9			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 T-ICWBL-04			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	タンク副部材			B 12 D A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	塩ビ管			B 05 D A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	不燃その他			B 10 D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	4	金属ゴミ			B 01 D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	5					m ²				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0398
				2018/2/9
調整後保管日時		2018年2月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2		ICWBL	F1-ICWBL-55
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	タンク副部材 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 11:10	2 m ²			2
	2	1	塩ビ管 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/26 11:00	1 m ²			1
	4	1	金属ゴミ ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 11:10	1 m ²			2
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票											計上No. 6013803 - 0016																																																																																															
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	11:30		承認	審査	作成		固体廃棄物管理G記入欄		受付																																																																																													
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										受付番号																																																																																														
	発生場所	G6エリア						2018/2/9	2018/2/9	2018/2/9	廃2018 — 02 — 0399 2018/2/9																																																																																															
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			調整後保管日時 2018年2月27日 11:30																																																																																														
	元請会社					担当者			TEL			【保管時の指示事項等】																																																																																														
線量測定年月日	2018/2/7	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04																																																																																																	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																	
		①	②	③																																																																																																						
	1	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無																																																																																																
	2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無																																																																																																
3	紙・ダンボール・ウエス	A	01	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無																																																																																																	
	4	金属・不燃ゴミ	B	01	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無																																																																																																
5	不燃ごみ	B	10	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無																																																																																																	
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																																																																																																									
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																													
	1	1	可燃物その他		2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/27 11:35	0.1 m ²			1																																																																																													
	2	1	プラスチック・ポリエステル		2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/27 11:35	0.1 m ²			1																																																																																													
	3	1	紙・ダンボール・ウエス		2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/27 11:35	0.05 m ²			1																																																																																													
	4	1	金属・不燃ゴミ ⑩		5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/27 11:45	2 m ²			3																																																																																													
6	1	タンク副部材 ⑩		5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/27 11:45	0.5 m ²			3																																																																																														
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																										
<div>※カテゴリ</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">①</th> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">可燃物</th> <th>01</th> <th>紙・ウエス類</th> <th>02</th> <th>プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th>03</th> <th>木材類</th> <th>04</th> <th>可燃物その他</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>06</th> <th>—</th> <th>07</th> <th>—</th> <th>08</th> <th>—</th> <th>09</th> <th>—</th> <th>10</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">B</th> <th rowspan="3">不燃物</th> <th>01</th> <th>金属ガラ</th> <th>02</th> <th>コンクリートガラ</th> <th>03</th> <th>機器類・制御盤類</th> <th>04</th> <th>土砂類</th> <th>05</th> <th>塩化ビニール類</th> <th></th> </tr> <tr> <th>06</th> <th>保温材</th> <th>07</th> <th>石綿含有物</th> <th>08</th> <th>ケーブル類</th> <th>09</th> <th>アスファルトガラ</th> <th>10</th> <th>不燃物その他</th> <th></th> </tr> <tr> <th>11</th> <th>フランジタンク本体</th> <th>12</th> <th>フランジタンク付属品</th> <th>13</th> <th>—</th> <th>14</th> <th>—</th> <th>15</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">C</th> <th rowspan="2">難燃物</th> <th>01</th> <th>ゴム類</th> <th>02</th> <th>難燃シート類</th> <th>03</th> <th>ホース類</th> <th>04</th> <th>難燃物その他</th> <th>05</th> <th>—</th> <th></th> </tr> <tr> <th>01</th> <th>伐採木(幹・根)</th> <th>02</th> <th>伐採木(枝・葉)</th> <th>03</th> <th>—</th> <th>04</th> <th>—</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>②</th> <th>状態</th> <th colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</th> <th>③</th> <th>履歴</th> <th colspan="7">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</th> </tr> </thead></table> <p>注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)</p> <p>注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。</p> <p>注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、$\beta + \gamma$ 線量率欄に「$\beta + \gamma$」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、$\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。</p>														①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																																														
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																														
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																															
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																															
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																															
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																															
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																															
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																				

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③										
	6	タンク副部材	B	12	D	A	1	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無		
	7	塩ビ管	B	05	D	A	1	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無		
	8	廃ゴム	C	01	D	B	1	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無		
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0399

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F固体廃棄物貯蔵庫保管ドラム缶等移動・管理業務委託								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫			2018/2/7	2018/2/7	2018/2/7			
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-097			
G 記 入 欄	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	A	16 m ³	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			
メ モ	日程調整済み									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0402
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 10:40	6 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事									
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備						2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8	
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/8		測定者			測定器名	ICW			
							管理番号	F1-ICW-368			
G	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	東側取扱具	B	01	D	B	3 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	鋼材	B	01	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m ³				
	4						m ³				
5						m ³					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0404
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	東側取扱具 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 10:00	3 m ³			1
	2	1	鋼材 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 10:00	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	11:00		承認	審査	作成											
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事																		
	発生場所	乾式キャスク仮保管設備					2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8											
	作業主管G	燃料管理グループ			監理員			TEL												
	元請会社				担当者			TEL												
	線量測定年月日	2018/2/8	測定者			測定器名	ICW		管理番号											
							F1-ICW-368													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	鋼材	B						01	D	B	6	m ³	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2											m ³							
		3											m ³							
		4											m ³							
5						m ³														
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0405
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月28日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鋼材 ⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/2/28 10:25	6 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0006		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年2月26日		(月)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名		大型土嚢運搬業務委託									
	発生場所		第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)				2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8			
	作業主管G		廃棄物基盤グループ				監理員	TEL				
	元請会社						担当者	TEL				
	線量測定年月日		2018/2/5		測定者			測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-120		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	可燃物その他		A	04	D	B	4 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類		A	01	D	B	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類		A	02	D	B	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4							m ³					
5							m ³					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0417	2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月26日		8:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/26 8:00	4.3 m ³			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/26 8:00	0.2 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0006		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	大型土糞運搬業務委託										
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)					2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/5		測定者			測定器名	ICVW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	可燃物その他			A	04	D	B	4 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2	紙・ウエス類			A	01	D	B	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	プラスチック・ポリ・ビニール類			A	02	D	B	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4								m ³				
5								m ³				
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0418
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/26 8:25	3.8 m ³			1	
2	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/26 8:25	0.3 m ³			1	
3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/26 8:25	0.8 m ³			1	
											m ³				
											m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0006

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	大型土嚢運搬業務委託									
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)			2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8				
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-120				
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	可燃物その他	A	04	D	B	3 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	1.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	4						m ²				
5						m ²					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0419
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/26 9:25	0.8 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/26 9:25	0.3 m ²			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/26 9:25	2.5 m ²			1
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0006

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	12:00	承認	審査	作成													
	作業件名	大型土壌運搬業務委託																		
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)			2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8													
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	不燃物その他	B						10	D	A	4.5	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
		2	不燃物その他(バッテリー)	B						10	D	B	0.2	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
		3												m ³						
		4												m ³						
5							m ³													
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0420
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月26日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 12:00	4.5 m ³			1
	2	1	不燃物その他(バッテリー) ⑥	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/26 12:00	0.1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	12:30	承認	審査	作成	
	作業件名	大型土嚢運搬業務委託						
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)			2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL			
	元請会社			担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者	測定器名		ICVW	管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m ²	
	2						m ²	
	3						m ²	
	4						m ²	
	5						m ²	
メモ	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0421
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月26日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0006				
作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時		2018年2月27日		(火)		8:00		承認	審査	作成			
	作業件名		大型土嚢運搬業務委託											
	発生場所		第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)				2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8					
	作業主管G		廃棄物基盤グループ				監理員		TEL					
	元請会社						担当者		TEL					
	線量測定年月日		2018/2/5		測定者		測定器名		ICW		管理番号	F1-ICW-120		
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1		アスファルトガラ			B 09 D A		5 m³		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h	無	
	2							m³						
	3							m³						
4							m³							
5							m³							
注: α有、β・α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0422	2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月27日		8:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年2月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/27 8:05	5 m³			1
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		D	伐採木											
		②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)														
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。														
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0006

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日	(火)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	大型土嚢運搬業務委託									
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)			2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8				
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-120				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0423
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月27日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/27 8:45	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

計上No.	6013102	-	0006
-------	---------	---	------

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0424	
					2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月27日			9:00
【保管時の指示事項等】					

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。												

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0006		固体廃棄物管理G記入欄		受付										
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年2月27日			(火)		9:30		承認		審査		作成										
	作業件名		大型土嚢運搬業務委託																					
	発生場所		第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2018/2/8		2018/2/8		2018/2/8											
	作業主管G		廃棄物基盤グループ				監理員		TEL															
	元請会社						担当者		TEL															
	線量測定年月日		2018/2/5		測定者		測定器名		ICW		管理番号		F1-ICW-120											
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率							
	1		アスファルトガラ			B 09 D A			5 m³		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無									
	2								m³															
	3								m³															
4								m³																
5								m³																
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																								
保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
					中止												m³							
																	m³							
																	m³							
																	m³							
																	m³							
																	m³							
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
メ モ																								
※カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウェス類				02 プラスチック・ポリ・ビニール類				03 木材類				04 可燃物その他				05 -			
					06 -				07 -				08 -				09 -				10 -			
			B 不燃物		01 金属ガラ				02 コンクリートガラ				03 機器類・制御盤類				04 土砂類				05 塩化ビニール類			
					06 保温材				07 石綿含有物				08 ケーブル類				09 アスファルトガラ				10 不燃物その他			
					11 フランジタンク本体				12 フランジタンク付属品				13 -				14 -				15 -			
			C 難燃物		01 ゴム類				02 難燃シート類				03 ホース類				04 難燃物その他				05 -			
					01 伐採木(幹・根)				02 伐採木(枝・葉)				03 -				04 -				05 -			
			D 伐採木																					
			②		状 態		D:乾燥, W:湿気有				③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0006		固体廃棄物管理G記入欄				受付									
作業主管理G記入欄	保管希望日時		2018年2月27日			(火)		10:00			承認		審査		作成		受付番号								
	作業件名		大型土嚢運搬業務委託														2018/2/8								
	発生場所		第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)										2018/2/8		2018/2/8		2018/2/8		調整後保管日時 2018年2月27日 10:00						
	作業主管G		廃棄物基盤グループ					監理員		TEL						【保管時の指示事項等】									
	元請会社							担当者		TEL															
線量測定年月日		2018/2/5		測定者				測定器名		ICW		管理番号		FI-ICW-120											
No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率									
1		アスファルトガラ			B 09 D A			5 m³		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無											
2								m³																	
3								m³																	
4								m³																	
5								m³																	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																									
線量測定内容																									
測定日																									
測定No.		氏名		測定器		管理番号																			
1																									
2																									
3																									
4																									
保管実績記入欄	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.		
			中止														m³								
																	m³								
																	m³								
																	m³								
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																									
※カテゴリ																									
①		A 可燃物		01 紙・ウエス類				02 プラスチック・ポリ・ビニール類				03 木材類				04 可燃物その他				05 -					
				06 -				07 -				08 -				09 -				10 -					
		B 不燃物		01 金属ガラ				02 コンクリートガラ				03 機器類・制御盤類				04 土砂類				05 塩化ビニール類					
				06 保温材				07 石綿含有物				08 ケーブル類				09 アスファルトガラ				10 不燃物その他					
				11 フランジタンク本体				12 フランジタンク付属品				13 -				14 -				15 -					
		C 難燃物		01 ゴム類				02 難燃シート類				03 ホース類				04 難燃物その他				05 -					
				01 伐採木(幹・根)				02 伐採木(枝・葉)				03 -				04 -				05 -					
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有				③		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」											
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																							
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																									
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0006

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	大型土壌運搬業務委託								
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)					2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0427	2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月28日		8:00	
【保管時の指示事項等】					
当日の状況によって 受入れを制限する場合があります。					

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/28 8:05	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0006

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月28日		(水)	8:30		承認	審査	作成											
	作業件名	大型土嚢運搬業務委託																		
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8～GT11)				2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8												
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120										
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率										
			①	②	③															
1			コンクリートガラ	B	02						D	B	5	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
2												m ³								
3												m ³								
4					m ³															
5					m ³															
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0428	2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月28日		8:30	
【保管時の指示事項等】					
当日の状況によって 受入れを制限する場合があります。					

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月28日	(水)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	大型土嚢運搬業務委託								
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8～GT11)			2018/2/8	2018/2/8	2018/2/8			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0429
				2018/2/8
調整後保管日時		2018年2月28日		9:30
【保管時の指示事項等】				
当日の状況によって 受入れを制限する場合があります。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

計上No.	6013102 - 0006
-------	----------------

線量測定内容			
測定日	2018年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		コンクリートガラ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h		エリアC	2018/2/28 9:50	5	m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013803 - 0015												
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年2月19日		(月)		8:00		承認		審査		作成											
	作業件名		Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																					
	発生場所		Bエリア						2018/2/9		2018/2/9		2018/2/9											
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL															
	元請会社						担当者		TEL															
	線量測定年月日		2018/2/8		測定者				測定器名		βγ用電離箱		管理番号 F1-ICWBL-133											
	No.		保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率							
	1		鉄筋コンクリートガラ				B 02 D A		33 m³		0.008 mSv/h		0.008 mSv/h		無									
	2								m³															
	3								m³															
4								m³																
5								m³																
4. 22×2台×4回 1回目8:00 2回目9:00 3回目10:00 4回目12:00																								
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
					中止												m³							
																	m³							
																	m³							
																	m³							
																	m³							
																	m³							
																	m³							
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																							
	メ モ																							
※カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—									
					06 —		07 —		08 —		09 —		10 —											
			B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類											
					06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他											
					11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —											
			C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —											
					01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —											
			D 伐採木																					
			②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」											
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012319 - 0001						
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	11:30		承認	審査	作成							
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務														
	発生場所	環境管理棟						2018/2/9	2018/2/9	2018/2/9						
	作業主管G	分析評価グループ				監理員	TEL									
	元請会社					担当者	TEL									
	線量測定年月日	2018/1/31	測定者			測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-90						
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率					
	1	不燃物その他(ホットプレート等)			B	10	D	A	0.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	不燃物その他(分析測定機器)			B	10	D	A	0.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	3	不燃物その他(薬品ビン)			B	10	D	A	0.4	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
4									m ²							
5									m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0443	2018/2/9
調整後保管日時		2018年2月26日		11:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h								
1	1	不燃物その他(ホットプレート等)⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/2/26 11:50	0.5	m ²			1
2	1	不燃物その他(分析測定機器)③	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/2/26 11:50	0.1	m ²			1
3	1	不燃物その他(薬品ビン)③	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/2/26 11:50	0.4	m ²			1
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務								
	発生場所	環境管理棟			2018/2/9	2018/2/9	2018/2/9			
	作業主管G	分析評価グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/1/31	測定者			測定器名	β・γ電離箱	管理番号	F1-ICWBL-90	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	紙・ウエス類	A	01	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0444
				2018/2/9
調整後保管日時		2018年2月26日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/26 11:35	4.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	1F使用済保護衣等分別・減容・保管業務委託									
	発生場所	5・6号機ベラー集積分			2018/2/9	2018/2/9	2018/2/9				
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	γ線量測定器	管理番号				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
	1	放射性廃棄物等	A	04	D	B	16 m³	10 μSv/h	290 μSv/h	無	
	2						m³				
	3						m³				
	4						m³				
	5						m³				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0445	2018/2/13
調整後保管日時		2018年2月26日		9:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	放射性廃棄物等	5 μSv/h	180 μSv/h		エリアE1	2018/2/26 9:30	16 m³			1
									m³			
									m³			
									m³			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F使用済保護衣等分別・減容・保管業務委託								
	発生場所	5・6号機ベラー集積分								
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ	監理員	TEL						
	元請会社		担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	γ線量測定器	管理番号	リ-ICW-162		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	放射性廃棄物等	A	04	D	B	15 m ³	10 μSv/h	75 μSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
5						m ³				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0446
				2018/2/13
調整後保管日時		2018年2月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-226
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	放射性廃棄物等	6 μSv/h	25 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/2/26 10:30	15 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月26日	(月)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F使用済保護衣等分別・減容・保管業務委託							
	発生場所	5・6号機ベラー集積分			2018/2/9	2018/2/9	2018/2/9		
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者			測定器名	γ線量測定器		
					管理番号	リ-ICW-162			
	No.	保管物名	※カテゴリー		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
1	放射性廃棄物等	A	04	D	B	20 m ³	10 μSv/h	75 μSv/h	無
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0447
				2018/2/13
調整後保管日時		2018年2月26日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-226
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	放射性廃棄物等	6 μSv/h	30 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/2/26 11:30	20 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012902 - 0034		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	低圧ケーブル信頼性向上工事(仮)(H29)										
	発生場所	土捨て場周辺2号配電線					2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13			
	作業主管G	配電・電路グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/1/26	測定者			測定器名	電離箱サーベイメーター		管理番号	F1-ICW-052		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリート柱			B	02	D	A	5 m ³	0.01 μSv/h	0.01 μSv/h	無
	2	コンクリートガラ			B	02	D	A	2 m ³	0.01 μSv/h	0.01 μSv/h	無
	3								m ³			
4								m ³				
5								m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0448	2018/2/13
調整後保管日時		2018年2月27日		11:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	2	コンクリート柱 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/27 9:15	0.7 m ³				1
1	3	コンクリート柱 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/27 9:15	0.7 m ³				1
2	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/27 9:20	2 m ³				1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012319 - 0001		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務										
	発生場所	5, 6号機 ホットラボ						2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13		
	作業主管G	分析評価グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者			測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-1ZZ		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	3						m ²					
	4						m ²					
	5						m ²					
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0455	2018/2/13
調整後保管日時		2018年2月27日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/27 10:30	1.6 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/2/27 10:30	3.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
②	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012319 - 0001		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務										
	発生場所	5, 6号機 ホットラボ					2018/2/13	2018/2/13	2018/2/13			
	作業主管G	分析評価グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者			測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-122		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 D A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
	2					m ³						
	3					m ³						
	4					m ³						
	5					m ³						
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

線量測定内容											
測定日	2018年2月27日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/2/27 11:00	4 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
	注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
	注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。														

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708	-	0029
-------	---------	---	------

作業主	保管希望日時	2018年2月26日		(月)	10:30		承認		審査		作成						
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】															
主	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他						2018/2/13		2018/2/13		2018/2/13					
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員				TEL							
管	元請会社					担当者				TEL							
	線量測定年月日	2017/11/14		測定者		測定器名		電離箱式サーベイメータ		管理番号		F1-ICWBL-72					
G	No.	保管物名			※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率	
			①	②	③												
記	1	発泡スチロール		A	02	D	B	2	m ³	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無			
	2	廃プラスチック		A	02	D	B	1	m ³	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無			
入	3	木材		A	03	D	B	2	m ³	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無			
	4								m ³								
欄	5								m ³								
メ																	
モ																	

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受付番号					
廃2018	—	02	—	0457	2018/2/13
調整後保管日時		2018年2月26日			
10:30					
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所		測定場所		表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
				霧囲気線量率								m	m			
			中止									m				
												m				
												m				
												m				
												m				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥、W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内」にあった物、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。